

7月17日

## テーマ：「神に会う備え」

聖書箇所：アモス書4章12節

### ◆今日のみことば

それゆえ、イスラエルよ、わたしはあなたにこうしよう。わたしはあなたにこのことを  
するから、イスラエル、あなたはあなたの神に会う備えをせよ。アモス4章12節

### ◆メッセージ

旧約聖書に出てくるアモスさんは、初めから神さまの言葉を語る預言者ではありませんでした。草原で羊のお世話をする羊飼いか、羊飼いの仲間たちをまとめるリーダーのような仕事をしてきた人です。いつものように羊のお世話をしていると、「預言者となってイスラエルの人たちにわたしの言葉を語りなさい」と、神さまからお声がありました。

アモスさんの時代には、イスラエルの人たちの心が神さまから離れていたため、礼拝をしている時も心は喜んでいないし、捧げ物をして形だけになっていました。そこで神さまは人々のそのような態度を注意して、正しい礼拝を捧げるように導こうとされたのです。

ところが、いくら注意をしてもなかなか聞いてもらえません。ある時には、神さまはイスラエルの人たちの心が神さまのほうに向くように願い、あれこれといろんな訓練を与えました。けれど



どもイスラエルの人たちの心は神さまから離れたままだったので、「それでも、あなたがたはわたしのもとに帰って来なかった」と言って、神さまは悲しみました。

ついに神さまは、預言者アモスさんを通してイスラエルの人たちに語りました。「あなたの神さまに会う備えをしなさい」と。これはとても厳しいお言葉です。神さまに会う備えというのは、まじめに正しい

心で神さまを礼拝している人なら何も怖くないのですが、真心をもって神さまの前に出ることをせず、喜んで礼拝をささげていない人にとっては、たいへん厳しい裁きがあることを意味しています。だから私たちは、いつでも神さまに会う備えをしていなければいけないですね。

それでは、私たちにとって「神さまに会う備え」とは、どういうことでしょうか。それは、いつも聖書を読み、聖書が伝えている主イエスさまにお会いしたいと願う心のことです。だれでもまじめに聖書を読むならば、いつでも主イエスさまにお会いすることができるのですよ。ですから、聖書を読む前に「今日も主イエスさまにお会いすることができますように」と、心からお祈りしましょう。毎日そのようにしていくことが、神さまに会う備えをしていることになるのですね。

### ◆お祈り

「天のお父さま、神さまに喜ばれる礼拝を捧げられるように、毎日まじめに聖書を読んでいきます。どうか、今日も主イエスさまにお会いできますように。」

(下馬福音教会牧師 武田順児)